

「視点」の違いから見るアスペクト形式選択の日中差

—非限界動作動詞の場合—

下地早智子 (神戸市外国語大学)

➤ 日中のテンス・アスペクト形式

	完成相	継続相
日本語	スル/シタ	シテイル/シテイタ
中国語	-了 le	-着 zhe

・複数の動作の<継起性>と<同時性>

➤ 主張

日本語のアスペクト形式選択には、出来事をどこから見ているか、という視座¹が関わっているが、中国語のアスペクト形式選択は、出来事の時間的構成のどこを見ているか、という注視点²が関わっている。

0. はじめに

(1) [話し手は子供が泣き始めた場面を目撃していない]²

J. 「あれ？この子、どうして *泣く / ?泣いた / 泣いている の？」³

C. “哟，这孩子怎么 哭了 / ??哭着 呢？”⁴

(2) 次のような日本人学生の日記に対し、中国人留学生から疑問が提出され、結局、傍線部分の訳に訂正をみた。

田政委含笑说：“……，”他扬手招呼刚接完电话的梅英姿，“……。”说着，他挥动了一下粗壮有力的手臂，……

[日本人学生訳例]

田政治委員はほほえんで言った。「～」彼は電話を受け終えたばかりの梅英姿を手を挙げて呼んだ。「～。」と言いながら，彼はごつい力のありそうな腕をさっと振り，～

[中国人留学生添削例]

といいながら→そう言う

武信(1978)

¹ 「視点」という用語は、複数の意味が区別されずに用いられることが多い。当面区別すべきなのは、どこから見ているかというときの「どこ」をさす場合と、どこを見ているかというときの「どこ」を指す場合である(宮崎・上野 1985:3)。本稿では、前者を「視座」もしくは「観察点」と称し、後者を「注視点」と称する。「視点」に関する幾つかの用語については、佐伯(1978)、本多(2005:18, 32)を参考にした。

² 「シタ」を用いるためには、出来事が実現された経過(少なくともその一端)を具体的な形で把握していなければならない (井上 2001:107)

³ 本発表では、「*」「?」等の記号は、当該の文脈において不適切である場合にも用いることとする。

⁴ 本発表のインフォマントは、神戸市外国語大学中国学科の任鷹教授(北方方言地域出身)と、日本語学、中国語学を専攻する大学院生諸子、孫樹喬さん、肖海娜さん、劉淼さんの3氏(ともに北方方言地域出身)にお願いした。ここに記して心よりお礼を申し上げる。ただし内容に誤りがある場合は全て筆者の責任である。

中川(1979:64-65)は、さらにこれが伝達動詞だけの問題ではなく、全ての継続動詞の問題であるとする。中川(1979)の記述では、光生館日中辞典の「いちどう」の項の(3)の下線部は、(4ab)のいずれかに改めるべきであるという。

(3) 一同言いあわせたように彼をみた／大伙儿不约而同地看了他。

(4) a. 看着他 b. 看了他一眼。

1. 「シテイル／シテイタ」が“了”に対応する場合

1.1 先行研究及び類例

(5) J. 子供が泣いている。見てきなさい。

C. 小孩儿哭了。你去看看。 (荒川 1991:20)

(6) J. トットちゃんは、先生と、指きりゲンマン！をした。先生は笑っていた。トットちゃんも、先生がうれしそうなのを見て、安心して、笑った。

C. 校长先生和阿彻钩了钩小指头，校长先生笑了。阿彻看校长先生很高兴，也放心地笑了。 (菅谷 1996:177)

(7) 亿文：“小何还有一件事情没告诉你们说呢，刚才我听小贝说在公园里头，他看见有个小男孩叫小何妈妈。”

贝贝：“小哥哥还哭了呢。” (《田教授家的二十八个保姆》1998，第4話)

億文「何さんはもう一つ隠し事をしていたわ。今さっき貝貝から聞いたの。公園で男の子が何さんをママって呼んでたって。」

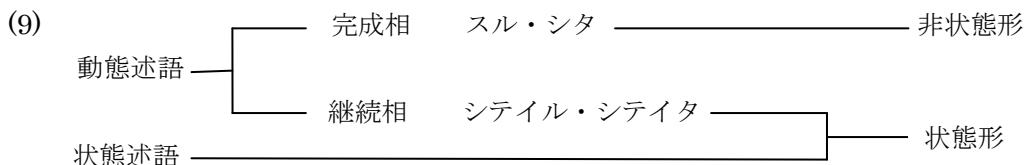
貝貝「しかもお兄ちゃん泣いてたよ。」(*しかもお兄ちゃん泣いたよ。)

1.2 日本語のアスペクト形式と「視点」

(8) 「継続相の意味は、設定時(RT)および出来事時(ET)を用いて次のように規定できる。

<運動の過程または結果状態> ⊇ ET ⊃ RT (金水 2000:21)

継続相が用いられるとき、出来事時は当該の動作の過程や結果状態と同時的であるか、その中に含まれており、「設定時」⁵、すなわち話し手が出来事を見る立ち位置としての観察点(視座)も、当該の動作の過程や結果状態に含まれている。



(井上 2001:103)

⁵ 「設定時(reference time)であるが、これは出来事を眺める基準点であり、視点の位置である」

- (10) 非状態形：基本形が設定時以後における出来事の実現を叙述するタイプ。(本を読む)
 状態形：基本形が設定時における継続的な状態の存在を叙述するタイプ。(本を読んでいる／彼は学生だ)
- (11) 「ている」は「観察してみると現在これこれである(これこれのデキゴト情報がある)」と
 いうことを表すエビデンシャルである。 (定延 2006:174)
- (12) a. 平行線はどこまでも交わずに伸びる。 / 私は毎日晩酌をする。
 b. 平行線はどこまでも交わずに伸びている。 / 私は毎日晩酌をしている。
 (定延 2006 / 金水 2000)
- (13) [雷が光った瞬間の夜空の写真を見て]
 お, 雷が光って(いる)！ (定延 2006)
- (14) a. 日本語の継続相
 当該の出来事情報が、視座と同時的に存在する。
 (その結果、出来事の限界は意識されない)
 b. 日本語の完成相
 ① 視座(観察)が関与しない恒常的・超時空間的意味内容・知識を述べる。(ル形)
 ② 当該の出来事情報が、視座と離れた位置(視座の前後)に存在する。
 (その結果、出来事の限界が意識される)
- [目の前で 泣いて／笑っている人に対して]
- (15) あれ、どうして {a. 泣く／b. 泣いている} の？
 (16) あれ、どうして {a. 笑う／b. 笑っている} の？
 (17) あれ、どうして泣くの？(さっきまであんなに笑っていたのに)
 (18) あなたが結婚すること話したら、A 子{泣い／笑っ} てたよ。
 —a. へえ、A 子ったらどうしてそんなことで {泣く／笑う} んだろ？
 —b.(?)へえ、A 子ったらどうしてそんなことで {泣いた／笑った} んだろ？
 —c. *へえ、A 子ったらどうしてそんなことで {泣いてい／笑ってい} たんだろ？

☛ (17)は「泣く」以前の状況(もしくは泣く行為の開始限界)が把握されており、(18)では A 子の
 人柄(属性)が問題にされている^{6 7}。((1)(5)(6)(7))

⁶ 「彼は今小説を書いている」は、「彼」が発話時現在に休憩中であっても発話可能である。また、「地球は回っている」のような例から、「観察」は仮想的であって良い(cf. 地球は回る)。「観察の仮想性」の観点から、定延(2006)は、「小説を書いている」とは「仮に観察してみればデキゴト情報 [小説書き] が今観察できる」ということではないか」としている。筆者には、「彼は小説を書いている」は、通常よりもスパンが大きい観察が働いている例であるように思われる。

⁷ 次の例は、神戸市外国語大学の福田嘉一郎氏からご指摘いただいた。

- (i) a. きゆう、A 子が泣いてたよ。
 —へえ、どうして {??泣く／??泣いた／泣いてた} んだろ？
 b. きゆう、A 子が玄関ホールでお弁当を食べてたよ。

1.3 中国語のアスペクト形式と「視点」

中国語において(1)(5)(6)(7)に“了”が用いられるのは、「泣いていない」状態から「泣いている」状態への境界への到達が自然に推論されるため。中国語では、到達への実現過程は実際に観察(把握)されなくても OK。

(19) [自分の沸かしたお湯が沸騰した] ⁸

J. よし、沸いた。 / ??よし、沸いてる。

C. 好，水开了。 / ??好，水开着。

(20) [給湯室の前を通ったら誰が沸かしたかはわからないがやかんの中のお湯が沸騰状態にある]

J. ??あれ，お湯が沸いた。 / あれ，お湯が沸いてる。

C. 哟，水开了。 / ??哟，水开着。

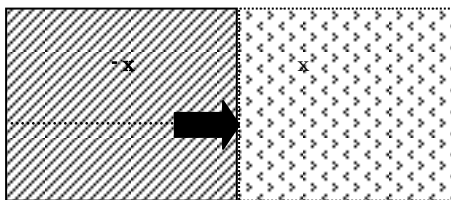


図1 “了”：境界への到達⁹

・図1に示した-xとxの境界線は、いわゆる出来事の「開始限界」であっても「終了限界」であっても良い(“吃饭了”“上课了”“走了”)。中国語では、「境界への到達」という状態変化が確実に生じたことを新情報として伝達する場合は、“了”を用いなければならない。

(21) [外出先で雨が降り始めた。一緒にいる人が、発話時現在に傘を携帯しているか否かを確認する場面で。]

J. カサを *持ちました / 持っています か?

—— *持ちました / 持っています。

C. a. 你带雨伞了吗? ——带了。

b. ? 你带着雨伞吗? ——带着。

(22) [出かける際に、一緒に出かける人が傘を忘れていないかどうかを確認する場面で。事前にその人物は傘を忘れることが多いという話題があった。]

J. カサを 持ちました / ?持っています か?

—— 持ちました / ?持っています。

C. a. ? 你带雨伞了吗? ——带了。

b. 你带着雨伞吗? ——带着。

——へえ、どうしてそんな所で {??食べる / ??食べた / 食べてた} んだろう?

福田氏によると、「泣いていた」ことと理由、「変な所でお弁当を食べていた」ことと理由を考える場合は、(質問文に)与えられたとおりの「継続相」が使われる。それに対して、「結婚することを話すと、{泣いてい / 笑ってい} た」ことと理由は、A 子の属性に関わると見て、習慣的完成相で考えることになるようだ」とのことであった。

⁸ (19)(20)は、井上(2001:106)の日本語の例について、中国語の対訳に関するインフォマントチェックを行った。

⁹ 太田(1950)は、文末の“了”について、文末の“呢”の「存在」「停滞」に対する「到達」「流動」を表すものであるとしている。動詞末の“了”との違いは、「到達」時が外的時間と関係する点であると考えられる。

- (23) 你别忘了带着雨伞!
 (傘を(持つことを)忘れないように!)
- (24) 你可要想着托你办的那件事。 (应用汉语词典:1373)
 (あなたに頼んだことをくれぐれも忘れないように(しっかり覚えているように)!)

㊦ “着” はどんなときに用いられる?

- (25) a. 小孩儿哭了。你去看看。(=(5J))
 b. *小孩子哇哇地哭了。你去看看。(?子供がワーワー泣いた。見てきなさい。)
 c. 小孩子哇哇地哭着。你去看看。(子供がワーワー泣いている。見てきなさい。)

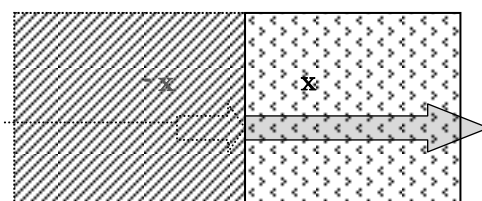


図 2 “着”: (境界到達後の)状態の不変化・均質¹⁰

・“着” は境界への到達を前提とするが、その部分は意識されず、その後の均質的な状態の部分に前面に描いている。(25bc)における“哇哇地”は、図 2 における x の様を詳しく描写しているので、“了”とは相いれず“着”のみが適格となる。

㊦(25b)日本語の「子供がワーワー泣いた」が不自然なのは別の事情。

- (26) J. 夫婦は大声で怒鳴りあった。子供がワーワー泣いた。情けない夜だった。
 C. 夫妻俩大声叫喊着。小孩儿哇哇地哭 *了/着。那是一个让人心碎的凄惨的夜晚。

2. “着” が「スル/シタ」に対応する場合

2.1 様態修飾成分と“着”の注視点

- (27) 王明说着，不由就笑了，……
 (王明はそう言って，おもわず笑った，……) (讚井 2000:59)
- (28) “敏” 亚丹忽然用颤抖的声音在敏的耳边唤着。敏含糊地答应着。
 (「敏君！」と，亜丹は突然ふるえ声で敏の耳もとで呼びかけた。敏は「うん」とあいまいな返事をした。)(? ~は耳もとで呼びかけている。敏は~返事をしている。)
 (巴金: 爱情三部曲，讚井 2000 : 59)¹¹

¹⁰ “着” を事態の「均質性」を示すものとしたのは、方梅 (2000)である。

¹¹ 讚井(2000)は、このような例から「V着」は動作が「実現し一定時間持続する」ことは積極的に主張しているが、「一定時間持続した動作がすでに終結しているか否か」については何も主張していない。終結しているかどうかは、完全にコンテキストに依存する」(p.59)と述べている。

- (29) “讨厌。”林蓓白了已远远而去的马青一眼，回头甜笑着。她穿了一领印着个大大“P”字的棉织圆领衫。
 (王朔「玩主」『王朔自选集』华艺出版社)
 「いやーね。」リンペイはすでに遠く運ばれていった馬青にツンと冷たく一瞥くれてから、くるっとふり返ってクスッと笑った。彼女は大きく「P」のアルファベットがプリントされた綿の丸首のTシャツを着ていた。(？クスッと笑っていた。)
- (30) 这猴王一听，老猴儿也说吃皮儿！嗯，他以为呀，真正的答案已经找到了，于是它向前走了一步，说道：“对！你们大家说得都对！就是小马猴儿说错了。她没吃过西瓜，硬说吃西瓜时吃瓢儿！好，今天叫他一个人吃瓢儿，咱们大家吃皮儿！”
 说着呢，把西瓜打开了。瓢儿都给小麻猴儿吃了，大家呢，是共分西瓜皮子。
 猿の王様，年寄り猿まで皮を食べると言ったのを聞くと，よし，本当の答えはもう分かったと思ひ込み，そこで一步前に出ると，「そうだ，みんなの言うのが正しくて，アバタの子猿だけが間違っとる！やつは西瓜を食べたこともないくせに，あくまで西瓜は中身を食べるのだと言ひ張った。よし，今日はやつに中身を全部くれてやる，わしらは皮を食べよう！」と言ひながら西瓜を切りました。中身は全部アバタの子猿に食べさせ，みんなは，西瓜の皮を等分しました。
 (『中国語ジャーナル』2011年4月号:21)

㊦(3)から“不约而同(言ひあわせたように)”を削除すると，“了”を用いることも可能。

- (31) a. 大伙儿看了他(一会儿)。
 b. 大伙儿看着他。
 (皆は(しばらく)彼を見た)

また，(27)の下線部から“甜(甘く)”をはぶくことにも同様の効果が見られる。

- (32) “讨厌。”林蓓白了已远远而去的马青一眼，回头笑了。她穿了一领印着个大大“P”字的棉织圆领衫。

(28)にも“用颤抖的声音(ふるえ声で)”や“含糊地(あいまいに)”など，動作の様態を描写する修飾成分が用いられている。

2.2 様態修飾成分のない例について

2.2.1 日中アスペクト形式とタクシス<時間的順序性>

- (33) 「話し手が，複数の出来事を1つの事件としてまとめあげながら伝達するとすれば，その複数の出来事成立の時間的順序性を表し分けなければならない。スル(完成相)は，時間的に限界づけて把握するがゆえに<継起性>を表し，シテイル(継続相)は，時間的に限界づけずに把握するがゆえに<同時性>を表す。だとすれば，スル—シテイルのアスペクト対立の本質は，時間的限界性(limitedness)に関わる点にある。」
 (工藤 1995:35)

- (34) 航空機が墜落した。消防隊が現場にかけつけた。負傷者が助けだされた。
 (35) 航空機が墜落していた。消防隊が現場にかけつけていた。負傷者が助けだされていた。

(工藤 1995:35)

(36) 飞机坠落了。消防队急忙赶到(了)现场, 抢救(*了)伤员。¹²

(37) ??飞机坠落着。消防队急忙赶到着现场, 抢救着伤员。

(38)(=26) J. 夫婦は大声で怒鳴りあった。子供がワーワー泣いた。情けない夜だった。C. 夫妻俩大声叫喊着。小孩儿哇哇地哭 *了/着。那是一个让人心碎的凄惨的夜晚。

㊦「シテイル」の<同時性>は出来事間の同時性であるというよりも、視座と(複数の)出来事間の同時性。“着”はそのようなく同時性>を表さない。

2.2.2 随伴動作の“着”と日本語動詞のテ形¹³

(39) a. 我微笑着淡淡地说。

(私は微笑んで(微笑みながら)淡々と言った。)

b. 忽然, 天空暗了下来, 北风卷着大雪, 向草原扑来。

(突然, 空が暗くなり, 北風が大雪を巻き上げて(巻き上げながら), 草原に向かって吹きつけて来た。)

(刘月华等 2001:393-394)

c. 走着去。(歩いて(?歩きながら)行く。)

(40) 前件はある人の何らかの行為を指し, 後件はその行為の影響のもとで, 他の人に何らかの変化が生じたり, 受益が生じたことを指す。¹⁴

大伙儿帮着, 我才把这小厨房盖起来。(皆の援助で(?皆が助けていて), ようやくこの小さな台所を造ることができた)

大伙儿帮着, 他的气才慢慢消了。

(皆の援助で(?皆が助けていて), 彼の怒りはようやくゆっくりと収まった)

(41) “这么……, 都不/还……”の形式を用いると, ある種の変化が生じるはずだったが生じなかった, という意味になる。¹⁵

这么说着, 他都不改。(これほど言って(?いて)も, 彼は全く改めなかった)

这么哄着, 她还哭。(これほどなだめて(?いて)も, 彼女はまだ泣き続けた)

(42) 说着, 他转身走了。(言うと(?言いながら), 彼は踵を返して去って行った。)

この例が, 彼が話している最中に踵を返して去ったことを意味するのか, 話し終わってから立ち去ったことを意味するのかは分からない。¹⁶

¹² この例で用いられている3つの動詞“坠落”“赶到”“抢救”のうち, “赶到”は動詞そのものが“着”を下接しない。“坠落”は“正在坠落着”とし, 「今まさに墜落しているところだ」という解釈であれば成立する。

¹³ “着”に相当する日本語の形式に「~テ」が含まれることは, 平岩(1939)につとに記述があるようである(刘一之 2001:6)が, 未見である。

¹⁴ “前一分句指某人的一种行为, 后一分句指在某人的这种行为的影响下, 另一个人发生了什么变化或得到了什么好处, ……” (刘一之 2001:151)

¹⁵ “这么……, 都不/还……”句式, 意思就是说: 应该发生某种变化, 但实际上没发生, …… (刘一之 2001:152)

¹⁶ 到底是在他说话当中他转身走了, 还是他说完话才转身走了, 不得而知。 (刘一之 2001:153)

- (43) 悲しい話を聞いて、涙がこぼれ落ちた。 [継起的] (益岡 2011:3)
 (44) 立っておしゃべりをした。 [同時的] (益岡 2011:3)
 (45) 「聴いて！」 「見て！」 「おぼえてて！」
 “听着！” “看着！” “记着！”¹⁷
- (46) 夏布汗褌儿穿着最舒服。 (『急就篇』125)

△ “着”は参照時と出来事時の<同時性>を保証しない。(2)(27)(30)は日本語のテ形のように後続文にムードを保留する形式。

3. まとめ

- ・日本語のアスペクト対立は、テンスとは異なる形で、視座と出来事間の時間的關係を捉えたもの。日本語の継続相は、出来事情報が発話者の視座と同時的に存在することを表し、日本語の完成相は、出来事情報が表現者の視座とは離れた時点にあることを表す。
- ・中国語のアスペクト対立は、発話者の視座とは無関係に、ある出来事の時間的構成について、状態-x から状態 x への「境界への到達」部分に注視点を合わせるか、それとも「到達後の均質的状态」部分を注視するかによるものである。
- ・日本語継続相の担う<同時性>とは、複数の事件間のものというよりも、むしろ視座と出来事間との同時性である。一方、中国語の“着”は、発話者の視座と出来事時の時間的位置關係を問題にしない。第 2 節で検討した例における“着”は、視座と出来事の<同時性>を問題にしたものではなく、第 1 節の場合と同様、一つ一つの出来事の時間的構成において、注視点が「到達後の均質的状态」部分に合わされていることを示すものである。
- ・以上により、日本語のアスペクト形式選択には、出来事をどこから見ているか、という視座が深く関わるが、中国語のアスペクト形式選択は、出来事のどこを見ているか、という注視点が深く関わっており、同じ viewpoint aspect とはいえ、その内実はかなり異なるものであることが伺える。
- ・“V1 着()V2”における“着”は、日本語において動作の<同時性>を示す「テイル」や「ナガラ」に対応する形式であるというよりも、動詞のムードを保留して、続く主動詞に預け、様々な連用關係をカバーするテ形接続形式により近い形式である可能性が考えられる¹⁸。

<参考文献>

平岩房次郎 (1939) 「助動詞の研究—時について」『支那語研究』第 2 号。

¹⁷ ただし、“着”が均質的な動作の持続を表すことから、“V 着！”形式の命令文になる動詞は日本語よりも制限があり、動作性の高い動詞はこの形式の命令文には用いられない。(袁毓林 1993:55-56)

*说着! (言って!) *扫着! (掃いて!)

¹⁸ ただし、次のような例では“V 着”が主節になっているようにも分析される。このような例の位置づけについては今後の検討課題としたい。

下面，我们试着讨论这些问题。(袁毓林 1993: 54)
 (以下、我々はこれらの問題の議論を試みる。(我々は試みてこれらの問題を議論する))

- 本多啓 (2005) 『アフォーダンスの認知意味論:生態心理学から見た文法現象』 東京大学出版会。
- 井上優・黄麗華 (2000) 「否定から見た日本語と中国語の Aspekte」『現代中国語研究』第 1 期, pp.113-122.
- 井上優 (2001) 「現代日本語の「タ」『「た」の言語学』, pp.97-163, ひつじ書房
- 木村英樹 (2006) 「「持続」・「完了」の視点を超えて—北京官話における「実存相」の提案—」『日本語文法』6 巻 2 号, pp.45-61.
- 金水敏 (2000) 「時の表現」金水敏, 工藤真由美, 沼田善子 著『日本語の文法 2 時・否定と取り立て』pp.3-92, 岩波書店。
- 工藤真由美 (1995) 『Aspekt・テンス体系とテキスト—現代日本語の時間の表現—』ひつじ書房。
- 益岡隆志 (2011) 「中立形接続構文とテ形接続構文」国立国語研究所共同研究プロジェクト研究発表会, 2011 年 2 月 19 日, 口頭発表資料。
- 三宅登之 (2005) 「表示動態の“V 着”的实际使用情况」『言語情報学研究報告』No.7, pp.127-145.
- 宮崎清孝・上野直樹 (1985) 『認知科学選書 1 視点』東京大学出版会。
- 中川正之 (1979) 「「着-le」と「了-le」」『アジア研究』創刊号, 広島大学総合科学部アジア研究講座, pp.59-67.
- 太田辰夫 (1947) 「北京語における“進行”と“持続”」『中国語雑誌』2 巻 2 号・3 号。太田辰夫著 (1995) 『中国語文論集 語学篇・元雑劇篇』汲古書院 10, pp.32-43。
- 佐伯胖 (1978) 『イメージ化による知識と学習』東洋館書店。
- 定延利之・アンドレイ マルチュコフ (2006) 「エビデンシャルティと現代日本語の「ている」構文」中川正之・定延利之(編)『言語に現れる「世間」と「世界」』pp.153-156, くろしお出版。
- 定延利之 (2006) 「心内情報の帰属と管理—現代日本語共通語「ている」のエビデンシャルな性質について」中川正之・定延利之(編)『言語に現れる「世間」と「世界」』pp.167-163, くろしお出版。
- 讚井唯允 (2000) 「「在等」「等着」「在等着」」『人文学報』No.311, pp.53-73.
- 下地早智子 (2010) 「現代中国語における「シテイル/シテイタ」相当表現—日中のアスペクト対立に見られる視点と主観性—」『神戸外大論叢』第 61 巻第 2 号, pp.87-108.
- _____ (印刷中) 「視点」の違いから見るアスペクト形式選択の日中差—非限界動作動詞の場合—」『日中言語研究と日本語教育』Vol.4.
- 下地早智子・任鷹(印刷中) 「“V 着”と「V テイル」「V ナガラ」「V テ」—非限界動作動詞の場合—」『CLAVEL』No.2.
- 菅谷有子 (1996) 「V-テイルに対応する中国語アスペクト」『小出記念日本語教育研究会論文集』No.5, pp.163-186.
- 武信彰 (1978) 「現代文学作品中の「伝達動詞+着」—「着」の側面観」『中国語学』225 号, pp.48-53.
- 寺村秀夫(1984) 『日本語のシンタクスと意味 II』くろしお出版。
- 陈前瑞 (2008) 《汉语体貌研究的类型学视野》商务印书馆。
- 方梅 (2000) 〈从“V 着”看汉语不完全体的功能特征〉《语法教学与研究》(九), 商务印书馆: 38-55。
- 刘一之 (2001) 《北京话中的“着(•zhe)”字新探》, 北京大学出版社。
- 袁毓林 (1993) 《现代汉语祈使句研究》, 北京大学出版社。
- Comrie, B. 1976. *Aspect: an introduction to the study of verbal aspect and related problems*, Cambridge University Press.
- Smith, C. 1994. Aspectual viewpoint and situation type in Mandarin Chinese. *Journal of East Asian Linguistics* 3, 107-146.
- Tai, James H-Y 1984. Verbs and Times in Chinese: Vendler's Four Categories. *Lexical Semantics*, ed by David Testen. Chicago Linguistic Society.
- _____ 1985. Temporal Sequence and Chinese Word Order. *Wang Li Memorial Volumes*. Joint Publishing Co.(HongKong)